

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表: 令和4年 3月 23日

事業所名 こどもプラス宇都宮教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10			昨年の3月に移転し、十分なスペースが取れるようになった。
	2	職員の配置数は適切である	10		配置人数は十分に満たしている。	
	3	設備等へ安全を配慮した措置がなされているか	10		電灯は割れにくいものを使用。 飛散防止フィルム・指挟め防止カバーの設置	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10		面談を行い、次年度に向けた目標設定を行っている。	
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1	スタッフ会議等で共有し、業務改善につなげている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10		HPで公開している。	
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10		研修の機会を設け、資質の向上に努めている。	
適切な支援の提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している	10		支援会議等で聞き取りをし、子ども・保護者との面談を行いニーズや課題を共有・把握した上で、児童発達管理者が作成している。	
	9	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10		面談時に行い、個々の個別ファイルにて保管している。	
	10	活動プログラムの立案をチームで行っている	10		正社員を中心に立案し、実行している。	
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10		スタッフ間で分担し、それぞれの得意分野を生かし活動に反映させている。	
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10		活動時間に応じて、活動の立案を行っている。	
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	10		個々の特性や状況に応じて、作成している。	
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10		支援開始前にスタッフ間で活動内容や注意事項等の共有を行っている。	
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10		送迎業務があり、決まった時間に振り返りができていないが、正社員を中心に個々に聞き取りを行ったり、共有ノートを使う等している。	
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10		毎日、個別支援記録を記入している。	
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス個別支援計画の見直しの必要性を判断している	10		相談支援員や学校等と連携し、保護者との面談も併せモニタリングを行っている。	
	18	安全に運動遊びができるよう用具の使用法や支援方法等に工夫や配慮をしているか	10		使用前に用具の点検を行っている。 運動指導や補助の行い方等の研修を受けている。	
	19	お子さんの特性に合わせた支援方法を個々に工夫しているか	10		個々の特性やその日の状況に応じながら目標設定している。	
20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	10		正社員を中心に立案し、行っている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10		担当者会議が行われる場合は、児童発達管理者が参加している。	
	22	幼稚園・保育園との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	10		下校時刻や学校行事については、保護者を通じて把握している。 送迎時の対応やトラブル発生時は、保護者や学校側に報告し、再度確認をする事で繰り返さぬよう努めている。	
	23	投薬指示書の内容に変更等がないかなど、定期的に保護者へ確認を取っているか	10		保護者へ確認をしている。	
	24	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10		研修がある場合には、受講している。	
	25	写真付きの連絡帳を作成し、保護者へ活動の内容や様子を共有できているか	9	1	連絡帳を介し、その日の内容や様子を保護者に伝えている。 アルバムを個々に作成し写真も実際に撮影して様子を伝えたり、ご自宅の様子を伺ったりし、保護者との共通理解に努めている。	
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10		送迎の際に教室での様子を伝えたり、ご自宅の様子を伺ったりし、保護者との共通理解に努めている。	
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9	1	全体に向けては行えていないが、保護者からの電話等でご相談いただきその都度、助言し対応している。	保護者会等を開催し、多くの方へペアレント・トレーニング等についての支援を行ってきたい。
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10		契約時に保護者に対し、説明を行っている。	
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10		連絡帳やLINE・電話を活用し、相談を受けた際は丁寧に対応している。	
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10		職員への聞き取りや原因・状況を明確にし、再発防止や保護者への対応を迅速に行っている	
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10		毎月、プラスだよりに運動遊びや教室の様子等を発信している。	
	32	個人情報に十分注意している	10		個人情報の扱いには十分注意している	
	33	HP等へ写真を掲載することについて、同意書等へサインをいただくなどして同意を得られているか	10		同意書をいただき了承を得て掲載している	
	34	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10		写真や絵カードなどを活用し、視覚的に伝わり易いよう配慮している。 場合によって手話やサインを活用している。	
非常時等の対応	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	10		保護者に配布し、周知している。 職員間でも共有している。	
	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10		年二回の避難訓練を行っている。 散歩の際に、避難経路を確認している。	
	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10		研修に参加し、事業所内研修を行っている。	
	38	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス個別支援計画に記載している	10		事前に説明し、個別支援計画に記載し、了承を得ている。	
	39	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10		ヒヤリハットの記入をし、全職員に周知し共有している。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。